

経営比較分析表（令和2年度決算）

熊本県 和水町

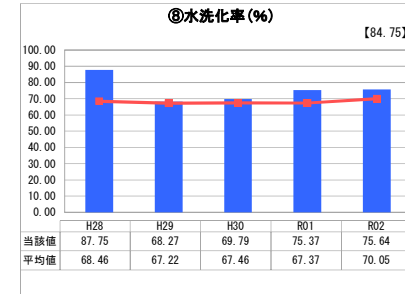
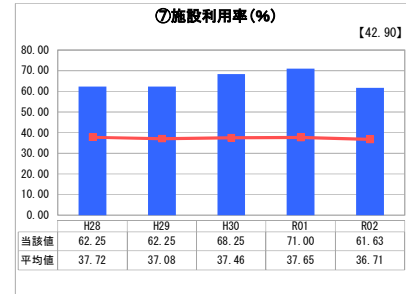
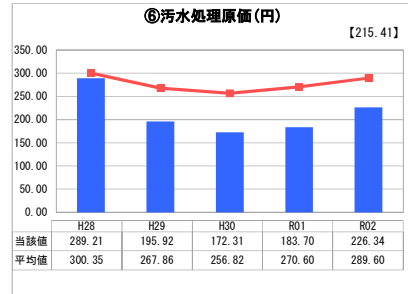
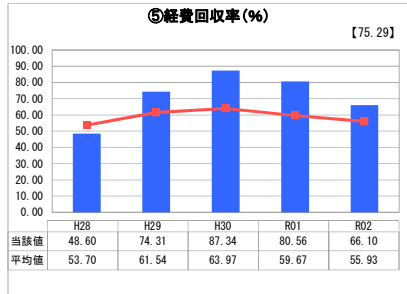
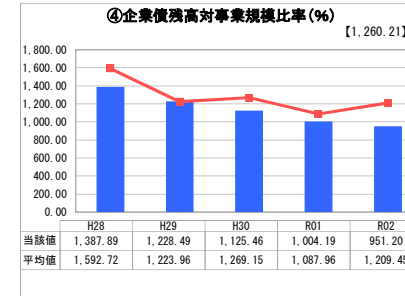
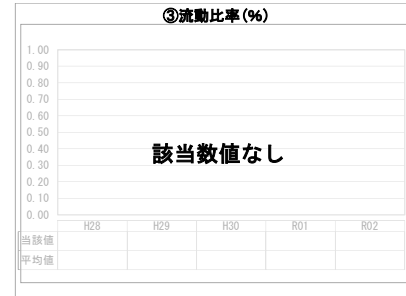
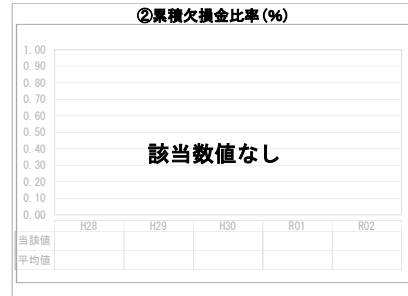
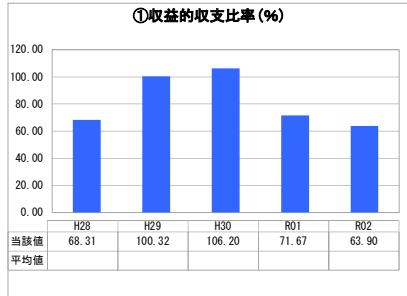
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	16.32	100.00	4,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,692	98.78	98.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,572	0.62	2,535.48

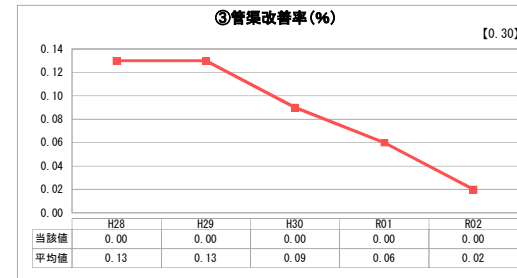
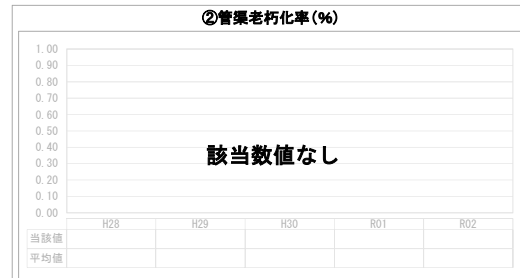
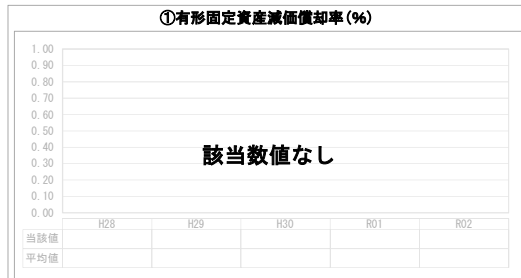
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、H28年度までは60%台で横ばいであったが、H29年度及びH30年度は100%台に回復した。しかしながら、R1年度は70%、R2年度は60%台まで減少している。

【要因】
・地方償還金は減少し、接続戸数の増加もしているが、総費用の維持管理費の増加が要因である。

【対策】
・設備機器の状態を保つためにも必要な点検・補修等の維持管理は継続する必要があるが、状態を把握したうえで優先具合を勘案し、費用の平準化を図ることとする。具体的には維持管理費を年間26,000千円程度に抑制することを目指す。

②下水道への接続戸数は年々増加（R1年度：453戸⇒R2年度：462戸）している、これに比例し水洗化率についても微増している。しかし施設利用率は減少している。

【要因】
・住宅の建設により接続件数は増加しているが、使用人員は減少（R1年度：1,209人⇒R2年度：1,189人）している。また、事業所等のコロナ感染症対策により、排出水量が減少したと推測される。

【対策】
・近年、10件程度で推移している接続件数を、広報活動等により維持していく。

2. 老朽化の状況について

・管渠の敷設からの経過期間は17年程度であり、現時点では特に異常は発見されていない。今後も適切な点検を行い、管渠寿命の延長に資するよう努める。

全体総括

①今後、設備の修繕・補修費用が増加していくことが予想される。そのため、計画的にメンテナンスを実施し、年度間の歳出額の差異を抑制する。

②地方債の償還額は、R2年度以降は20百万円台の見込みだが、公営企業会計への移行に伴い増加する。経営体力に対し過度にならないよう事業計画を立案する。

③処理区域内人口密度が低いこともあり、汚水処理原価は高い数値での推移となっているが、処理区域内の接続率を向上させることで、汚水処理原価を低下させたい。R3年度には水洗化率を80%を目標とする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。